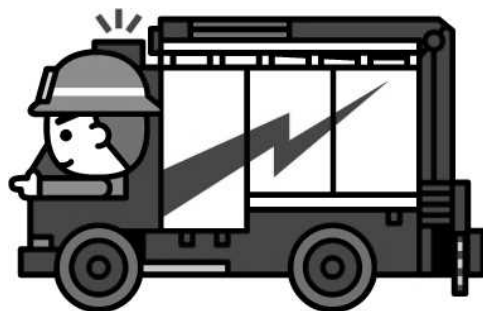


救

助



救助活動の概要

令和5年中の救助出動件数は、203件で前年に比べ36件の増加となっています。

事故種別による出動件数は、建物等による事故が101件、その他の事故が54件、交通事故が17件、火災が17件、水難事故が11件、ガス及び酸欠事故が3件となっています。

活動件数は、174件で前年に比べ32件の増加(救助出動件数に対する活動件数の率は、85.0%)となっています。

また、被救助人員は、149人で前年に比べ11人の増加となっています。建物等による被救助人員が95人で全体の63.8%を占め、その他の事故による被救助人員が27人で全体の18.1%となっています。

地区別救助出動件数では、南毛利地区が41件で最も多く、厚木地区が38件、依知地区が32件と続いています。

1 救助出動状況調

(1) 救助出動件数

(令和5年中)

区 分 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害等 自然災害	建物等	ガス及 び酸欠	その他	計
出動件数	17	17	11	－	101	3	54	203
延べ出動隊員数	523	277	236	－	1,364	43	778	3,221
活動件数	17	10	11	－	95	3	38	174
延べ活動隊員数	115	93	176	－	670	26	326	1,406
被救助人員	2	10	11	－	95	4	27	149

(2) 地区別救助出動件数

(令和5年中)

区 分 \ 地区別	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	清川	東名高速	応援等	計
火 災	－	3	3	3	1	1	3	1	2	－	－	17
交 通 事 故	1	5	－	－	1	－	3	2	2	2	1	17
水 難 事 故	1	3	－	－	1	1	－	2	3	－	－	11
風水害等自然災害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
建物等による事故	25	15	16	8	4	3	26	4	－	－	－	101
ガス及び酸欠事故	－	1	－	－	－	－	－	－	2	－	－	3
そ の 他 (山 岳)	11	5	6	5 (2)	2	6 (5)	9	4	6	－	－	54 (7)
計	38	32	25	16	9	11	41	13	15	2	1	203

※ 東名高速の件数については、市内件数を含める。

※ 新東名高速道路上の出動件数については、東名高速に含む。

(3) 消防相互応援件数（救助）

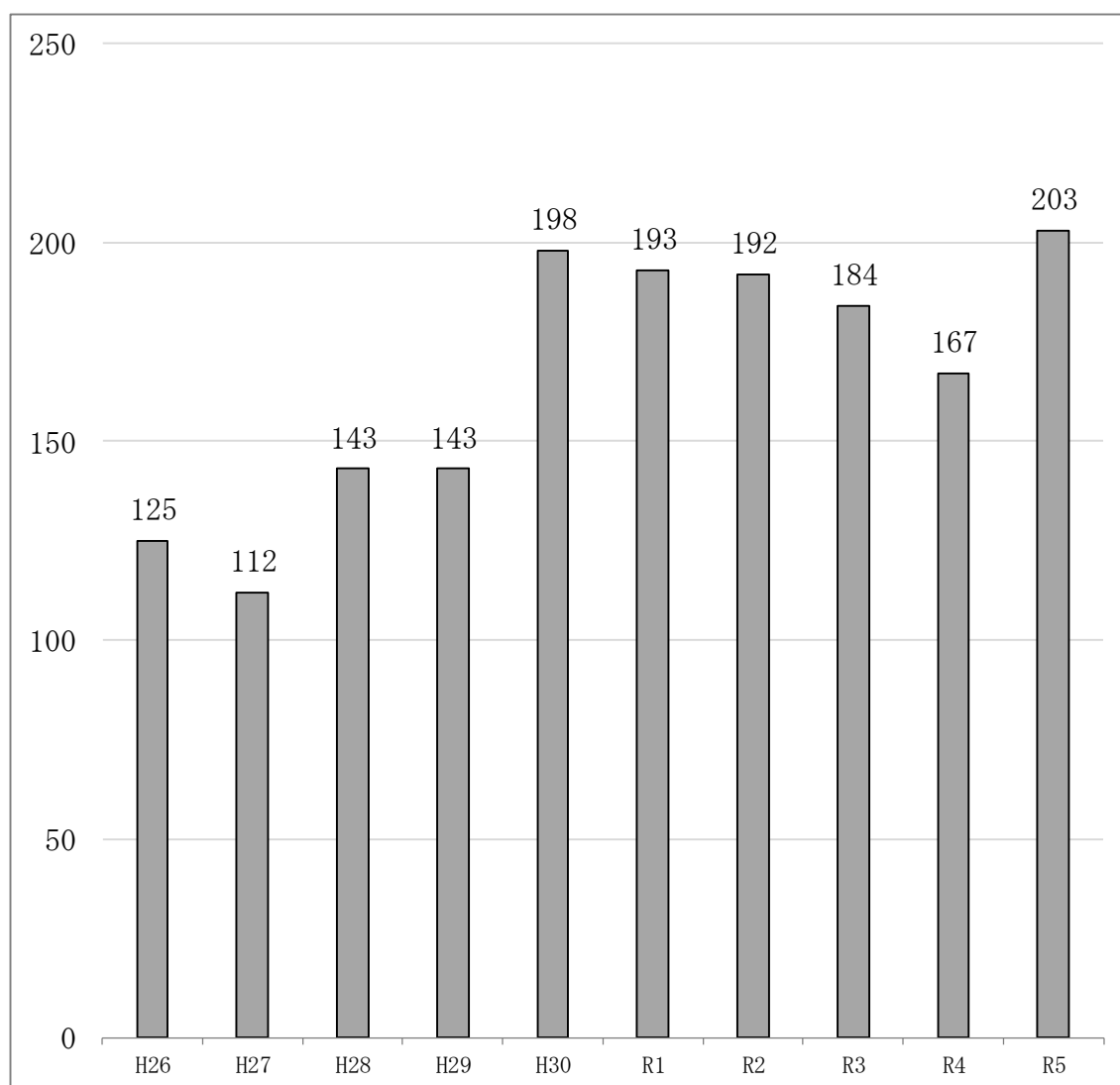
（令和5年中）

区 分 \ 応援市町村	横 浜 市	相 模 原 市	海 老 名 市	伊 勢 原 市	座 間 市	秦 野 市	愛 川 町	寒 川 町	計
応 援	-	2	1	1	-	-	-	-	4
東名高速	-	-	-	1	-	-	-	-	1
受 援	-	-	5	-	1	-	-	-	6
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 新東名高速道路上の出動件数については、東名高速に含む。

(4) 救助出動の推移

（件）



(5) 主な人命救助活動

(令和5年中)

発生日	時 分	種 別	事故概要及び活動状況	使用資機材
1月27日	(覚 知) 22時44分 (救 出) 23時33分	交通事故	小型貨物自動車が交差点へ進入した際、何らかの理由により直進し擁壁に衝突したもの。 油圧救助器具を使用して運転席側のドアを排除し、油圧スプレッダー及びレシプロソーを使用してアクセルペダルを切断し、バックボードにより車外へ救出する。	1 油圧救助器具 2 レシプロソー 3 バックボード
7月22日	(覚 知) 7時04分 (救 出) 7時28分	交通事故	軽乗用車と路線バスの正面衝突事故により軽乗用車の運転手が車内に閉じ込められたもの。 車載ウインチを使用し、挟まっていた足の間隙を広げ、バックボードにより車外へ救出する。	1 車載ウインチ 2 油圧切断機 3 バックボード
11月25日	(覚 知) 13時02分 (救 出) 20時55分	その他の事故 (山岳)	7人のパーティで登山していたところ、1人が尾根を歩行中にバランスを崩して滑落したもの。 山道から約50m下に要救助者を確認したため、救助隊員2人が進入し、パーティカルストレッチャーに収容する。山道まで引き揚げた後、レスキューザックを使用して要救助者を背負い下山する。	1 パーティカルストレッチャー 2 レスキューザック 3 登山器具

2 救助技術の強化

多種多様化する人命救助事案に対して身体の鍛錬と救助技術を習得するとともに、他都市との合同訓練を通じ、大規模災害への広域的な連携強化を図ることを目的としています。

(令和5年中)

訓練等区分	月 日	場 所	参加人員	内 容
3市水難救助合同訓練	4月28日	相模川 相模大堰上流	42人	相模川において水難救助事故等が発生した際、近隣消防本部が早期に協力体制を確立し、迅速・的確な救出活動及び更なる広域的な連携強化を目的とする合同訓練。
山岳救助連携訓練	10月16日 10月17日	旧七沢弁天の森 キャンプ場東側 南沢林道 ぼうさいの丘公園	74人	山岳救助事案に対し、航空隊と地上部隊の連携を図り、迅速的確な救助活動を行うため、川崎市消防局航空隊と実施した合同訓練。
架空送電設備における高所救助訓練	10月26日	東京電力パワー グリッド株式会社 相模原研修 センター	7人	架空送電設備の高所で発生した救助事案を想定した実践的な救助訓練を県内消防(局)本部と実施。
緊急消防援助隊 関東ブロック合同訓練	11月14日 11月15日	山梨県内 各訓練会場	974人 (全消防本部)	山梨県内での地震に起因する大規模災害を想定し、実践的な訓練を実施する。緊急消防援助隊及び各関係機関との連携強化を図ることを目的とする合同訓練。

3 救助関係主要機械器具等一覧表

(令和6年4月1日現在)

用途	一般救助用器具								重量物排除用器具				
名 称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバー sling	救助用平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧スプレッダー	油圧ジャッキ	
数量	10	17	2	1	2	21	7	3	2	1	5	2	
用途	重量物排除用器具				切断用器具								
名 称	救助用支柱器具	可搬式ウインチ	空気ジャッキ一式	チェーンブロック	油圧切断機 (カッター)	(エアソー) 空気鋸	エンジンカッター	電動カッター	(酸素溶断器) ガス溶断器	チェーンソー	鉄線カッター		
数量	1	6	2	1	6	3	24	2	1	36	33		
用途	検知・測定用器具					破壊用器具			呼吸保護用器具				
名 称	複合ガス検知器 (可燃性ガス警報器含む) (酸素濃度測定器及び)	(ポケット型含む) 放射線測定器	有毒ガス検知器	化学剤検知器	生物剤検知器	削岩機	ハンマードリル	携帯用コンクリート 破壊器具	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	送排風機	
数量	23	38	3	1	1	3	3	2	66	5	2	9	
用途	隊員保護用器具									水難救助用器具			
名 称	防毒マスク	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	放射線保護服	陽圧式化学防護服	化学防護服	水中スピーカー	水中時計 (ダイブコンピュータ)	水中カメラ	潜水器具一式
数量	61	20	9	9	12	3	3	20	157	2	2	1	12
用途	水難救助用器具				高度救助用器具					その他の救助用器具			
名 称	救命胴衣	救命ボート	船外機	流水救助器具	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	画像探索機	地震警報器	地中音響探知機	除染設備一式	エアータント	ドローン	レスキュー プラットフォーム
数量	150	9	11	77	9	1	3	1	1	2	3	3	1